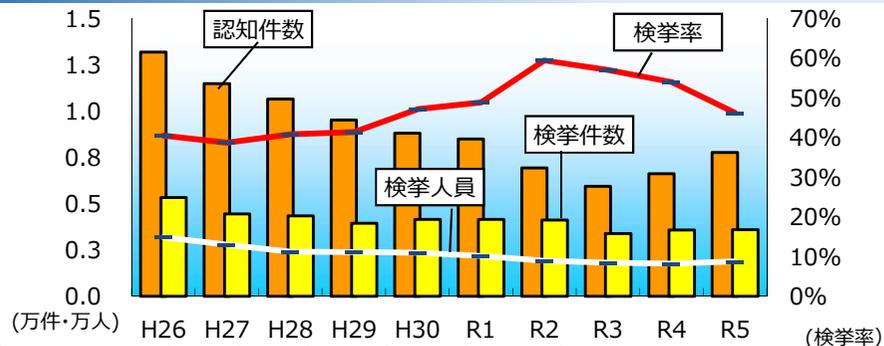


「令和5年長野県警察の運営重点と対策」推進結果

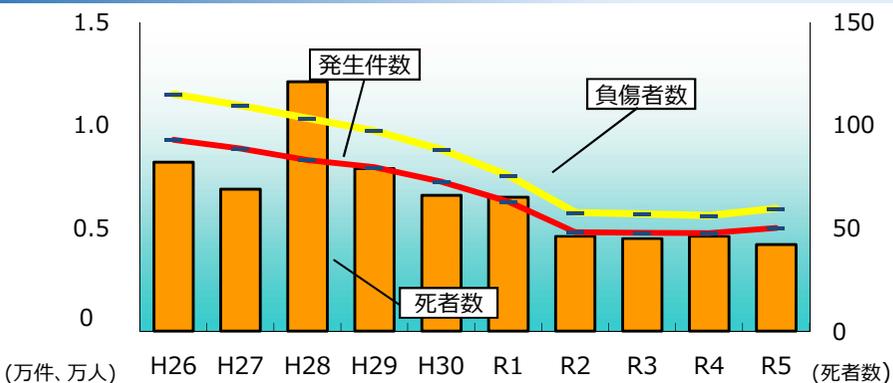
犯罪情勢



区 分	R2	R3	R4	R5	前年比
刑法犯認知件数	6,944	5,959	6,635	7,769	+1,134
増減率	-18.3%	-14.2%	+11.3%	+17.1%	
検 挙 件 数	4,130	3,401	3,591	3,605	+14
検 挙 率	59.5%	57.1%	54.1%	46.4%	-7.7
検 挙 人 員	1,916	1,812	1,762	1,888	+126

- 刑法犯認知件数は、戦後最少を記録した令和3年から2年連続で増加
- 最も認知件数が増加した犯罪区分は窃盗犯で5,360件（前年比616件）を認知

交通事故発生状況



区 分	R2	R3	R4	R5	前年比
発 生 件 数	4,802	4,772	4,752	5,006	+254
死 者 数	46	45	46	42	-4
負 傷 者 数	5,756	5,696	5,611	5,951	+340
死 傷 者 数	5,802	5,741	5,657	5,993	+336

- 発生件数は、平成17年から令和4年まで18年連続で減少していたところ、前年から254件増加
- 死者数は、統計の残る昭和23年以降最少を記録

運営重点の推進結果

※（ ）内は前年比

項目	推進内容	今後の取組方針
1	総合的な犯罪防止対策の推進	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・多発犯罪手口 <ul style="list-style-type: none"> 万引き 1,606件 (+423件) 自転車盗 1,040件 (+292件) 器物損壊 663件 (+91件) ・電話でお金詐欺（特殊詐欺）発生状況（暫定値） <ul style="list-style-type: none"> 認知件数 227件 (+29件) 被害額 約9億8,148万円 (+約4億1,917万円) ・人身安全関連事案発生状況 <ul style="list-style-type: none"> ストーカー相談等件数 336件 (+103件) DV相談等件数 908件 (+174件) 児童虐待通告児童数 1,122人 (+185人) ・福祉犯検挙件数/人員 79件 (+3件) / 61人 (±0人) ・生活環境事犯検挙件数/人員 295件 (-49件) / 294人 (-45人) ・サイバー犯罪検挙件数/人員 181件 (+18件) / 88人 (-21人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な防犯対策の推進及び地域住民へのタイムリーな防犯情報の提供による自主防犯活動の促進 ○高齢者が犯罪グループからの電話を受けないためのAIを活用した特殊詐欺対策機器、ナンバーディスプレイ等の更なる普及活動の促進 ○人身安全関連事案における危険性・切迫性に応じた組織的対応の推進 ○児童の性的搾取等事犯を始めとした悪質な福祉犯の更なる検挙と少年の規範意識の向上や犯罪被害防止を図るための取組を推進 ○関係機関との連携強化等による生活経済事犯の早期把握と被害拡大防止に向けた事件化の推進 ○サイバー犯罪の犯行手口の実態解明とタイムリーな広報啓発・被害防止活動の推進
2	県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・重要犯罪認知件数 116件 (+36件) 検挙件数/検挙率 91件 (+21件) / 78.4% (-9.1P) ・電話でお金詐欺（特殊詐欺） <ul style="list-style-type: none"> 検挙件数/人員（暫定値） 59件 (-1件) / 21人 (-22人) ・重要窃盗犯検挙件数/人員 528件 (+66件) / 61人 (+9人) ・暴力団犯罪検挙件数/人員 322件 (-16件) / 159人 (+12人) ・薬物事犯検挙人員 88人 (+24人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○緻密な捜査指揮と的確な捜査態勢の確立による適正捜査の推進 ○部門間の連携と情報共有による暴力団、特殊詐欺、匿名・流動型犯罪グループ等犯罪組織に対する実態解明と取締りの強化 ○薬物・銃器密売組織の壊滅に向けた情報収集強化と末端薬物乱用者の突き上げ捜査の徹底
3	交通事故防止対策の推進	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者事故発生件数 2,096件 (+141件) / 構成率41.9% 死者数 25人 (-2人) / 構成率59.5% ・飲酒1当事事故発生件数/死者数 44件 (+1件) / 1人 (±0人) ・交通違反検挙件数 <ul style="list-style-type: none"> 飲酒運転 263件 (+54件) 横断歩行者妨害 2,323件 (-591件) 通行禁止 8,193件 (-1,919件) 妨害運転（いわゆる「あおり運転」） 3件 (±0件) ・交通安全施設整備状況（累計） <ul style="list-style-type: none"> ゾーン30/ゾーン30プラス 121か所/3か所 歩車分離式信号機 484基 ・65歳以上の運転免許証自主返納件数 6,696件 (-553件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の加齢による身体機能の変化を踏まえた安全運転や自らの身を守る交通行動の実践を促す安全教育・広報啓発の推進 ○横断歩道におけるルール・マナーアップや自転車乗車用ヘルメット・反射材の着用等交通安全教育・啓発活動の推進 ○可搬式オービスの活用を含めた通学路・生活道路における指導取締りの強化 ○交通安全施設の戦略的なストック管理及びライフサイクルコストの低減 ○運転技能検査、認知機能検査及び高齢者講習の円滑な運用と運転免許証自主返納者に対する各種支援施策の充実に向けた取組
4	G7外務大臣会合等におけるテロや大規模災害等に係る危機管理対策の推進	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・テロ等の未然防止に向けた管理者対策、テロ等対処訓練を実施 ・災害対処能力等の向上のための実戦的訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○テロ等の未然防止に向けた事業者等との緊密な連携と対処訓練の推進 ○総合的な危機管理体制の点検・構築と防災関係機関との情報共有及び合同訓練の継続実施
5	治安情勢を的確に把握した効果的な地域警察活動の推進	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・事件、事故の発生分析に基づく「見せる警戒活動」と職務質問による犯罪検挙を推進 ・山岳遭難発生件数/遭難者数 302件 (+18件) / 332人 (+22人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○治安情勢に応じた効果的な街頭活動の強化による、犯罪の抑止・検挙と管内実態把握の推進 ○山岳遭難救助隊等の救助技能の向上と迅速・的確な救助活動の推進
6	県民の立場に立った積極的な対応	今後の取組方針
7	科学技術の進展等社会の変化に適應する警察活動の基盤強化	今後の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・警察に対する相談受理件数 94,667件 (+4,993件) ・警察官採用試験受験者数 636人 (-166人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○県民からの各種相談等への誠実な対応 ○警戒の空白を生じさせない組織体制づくり ○働きやすい職場環境の形成

長野県警察運営指針

県民とともにある力強く温かい警察
～日本一安全・安心な信州をめざして～

